

# 九州経済国際化データ2017

*Kyushu economic internationalization data*

## 【 貿易編 】



< 概要版 >

2017年8月

経済産業省 九州経済産業局

# 九州経済国際化データ2017貿易編(ポイント)

## 九州の貿易額等

○2016年の九州の貿易額は、輸出入額ともに前年より減少

輸出額 **5兆6,548億円**(前年比 5.1%減、全国 70兆358億円、全国比 8.1%、前年比 7.4%減)

輸入額 **4兆4,643億円**(前年比 21.4%減、全国 66兆420億円、全国比 6.8%、前年比 15.8%減)

○前年に比べて円高が進行(為替レート 2015年121.04円/ドル→2016年108.79円/ドル)したため、輸出入額とも目減り

○輸出については、4月の熊本地震の影響などがあったものの、自動車等が牽引し、小幅な減少

○輸入については、原油等資源価格の前年からの下落の影響等により前年を大幅に減少

○輸出から輸入を引いた貿易収支は+1兆1,905億円で、2年連続の貿易黒字(全国は6年ぶりに黒字)

## 九州と各国の貿易

○2016年の九州の最大の貿易相手国は中国であり、次いで米国、韓国(前年と同順位:貿易総額ベース)

○ただし、中国との貿易においては輸出入額ともに大きく減少

○輸出相手国としては、中国への輸出額が最も多く、次いで米国、韓国、台湾、香港等となっており、アジア向けの輸出が大

○輸入相手国としては、中国からの輸入額が最も多く、次いでオーストラリア、サウジアラビア、韓国、インドネシア等となっており、資源国からの輸入が大

※新たに、ミャンマーの追加、EUの英国分を記載

## 九州の産業別貿易

○九州から世界への輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、船舶類、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等製造装置となり、この5品目で全体の5割超

○九州の世界からの輸入品目は、原油及び粗油、石炭、非鉄金属鉱、石油ガス類などの鉱物性燃料や原料品が上位

## 九州と世界の貿易

.....p1

- ・九州の貿易(総括) p1
- ・九州の品目別貿易動向 p2
- ・九州の国・地域別貿易動向 p3
- ・九州の貿易収支 p4

## 九州と各国・地域の貿易

.....p5

- ・韓国 p5
- ・中国 p6
- ・台湾 p7
- ・香港 p8
- ・ASEAN p9
- ・ベトナムp11
- ・タイp12
- ・インドネシア p13
- ・EU p14
- ・米国 p16
- ・オーストラリア p17

## 九州の産業別貿易動向

.....p18

- ・自動車 p18
- ・半導体等電子部品 p19
- ・食料品 p20
- ・鉱物性燃料 p21

# 九州の貿易(総括)

- 2016年の九州の貿易額は、輸出が5兆6,548億円(前年比5.1%減)と4年ぶりに前年より減少し、輸入は4兆4,643億円(前年比21.4%減)と2年連続で減少した。
- 輸出の国別では、中国向け(寄与度※: ▲3.0%)、台湾向け(同 ▲0.9%)、シンガポール向け(同 ▲0.9%)などの輸出額が減少した。一方、米国向け(同 +1.5%)、イタリア向け(同 +1.0%)、韓国向け(同 +0.6%)などの輸出額は増加した。
- 輸入の国別では、中国(寄与度: ▲3.3%)、サウジアラビア(同 ▲2.6%)、オーストラリア(同 ▲2.2%)などの輸入額が減少した。
- 九州の貿易額が全国に占める割合は、輸出は8.1%で前年より増加したのに対し、輸入は6.8%と前年より減少し、12年ぶりに7%を下回った。

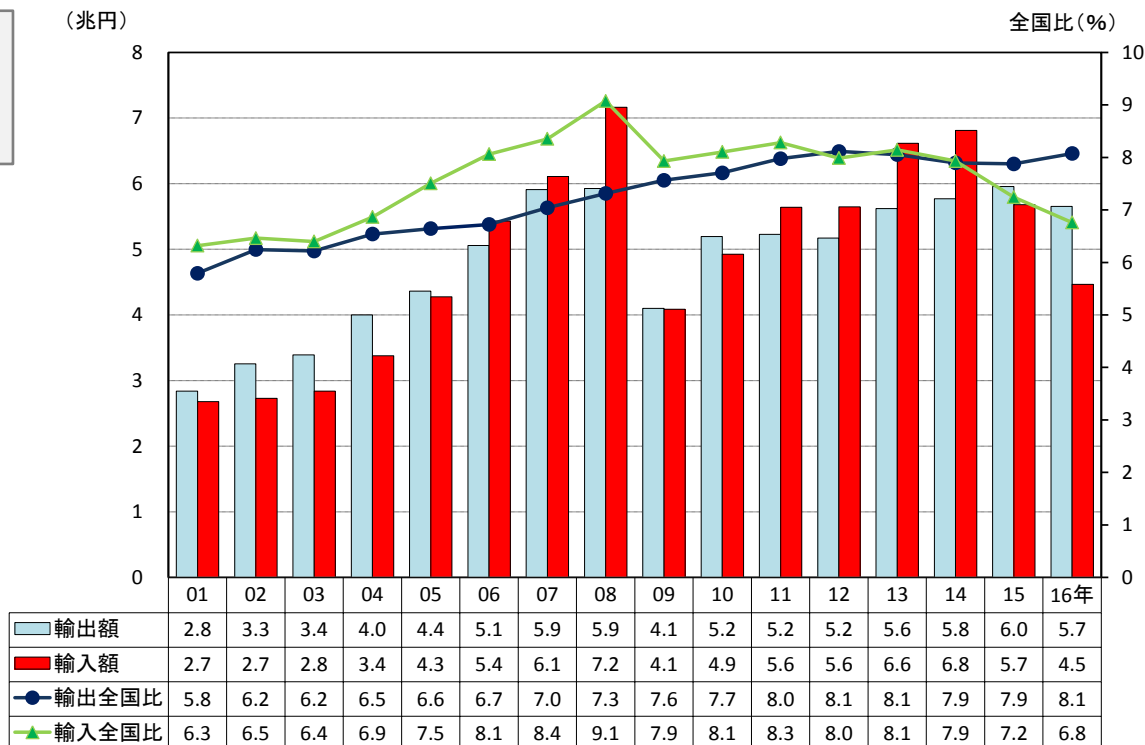
## ★2016年のポイント★

前年に比べて円高が進行したため、輸出入額とも目減りした。輸出額については、4月の熊本地震の影響などがあったものの、自動車等が牽引し、小幅な減少にとどまった。一方、輸入については、原油等資源価格の前年からの下落の影響等により前年を大きく下回り、結果、2年連続の貿易黒字となった。

※寄与度とは、

貿易統計において(前期との差額)÷(前期の輸出または輸入総額)で算出され、当該項目の増加が輸出または輸入の総額にどれくらい寄与するかを示す。単位は%。

九州の対世界貿易額と全国比の推移



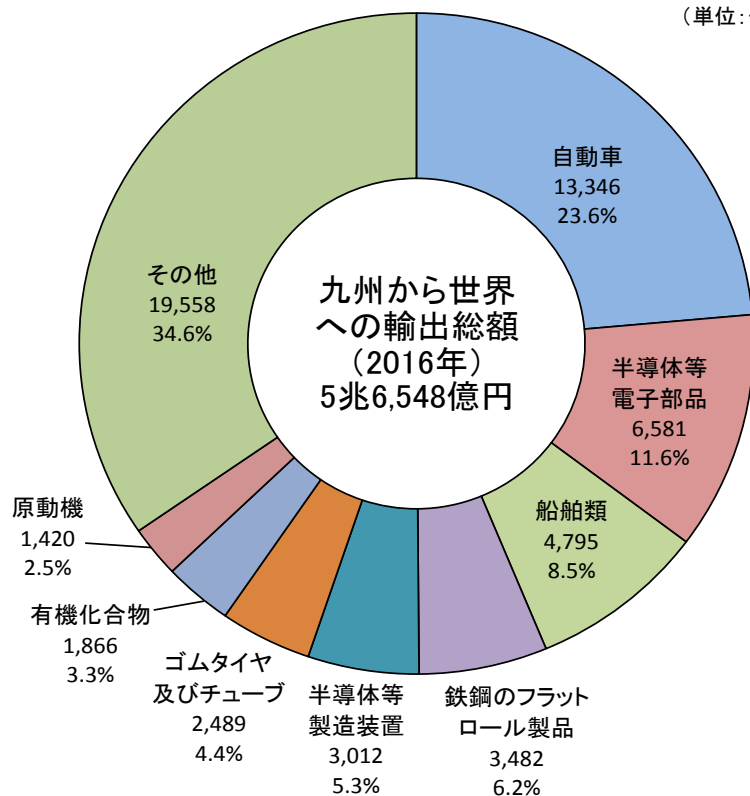
# 九州の品目別貿易動向

○九州から世界への輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、船舶類、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等製造装置となり、この5品目で全体の5割超を占めた。2016年の輸出額は、自動車(寄与度: +3.0%)や船舶類(同+1.5%)などが増加した一方、映像機器(同▲1.9%)や鉄鋼のフラットロール製品(同▲1.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(同▲1.0%)などは減少した。

○九州の世界からの輸入品目は、原油及び粗油、石炭、非鉄金属鉱、石油ガス類などの鉱物性燃料や原料品が上位を占めている。2016年の輸入額は、原油及び粗油(寄与度: ▲7.9%)や石油ガス類(同▲3.2%)のほか、鉄鉱石、石油製品、石炭なども減少し、前年を大きく下回った。

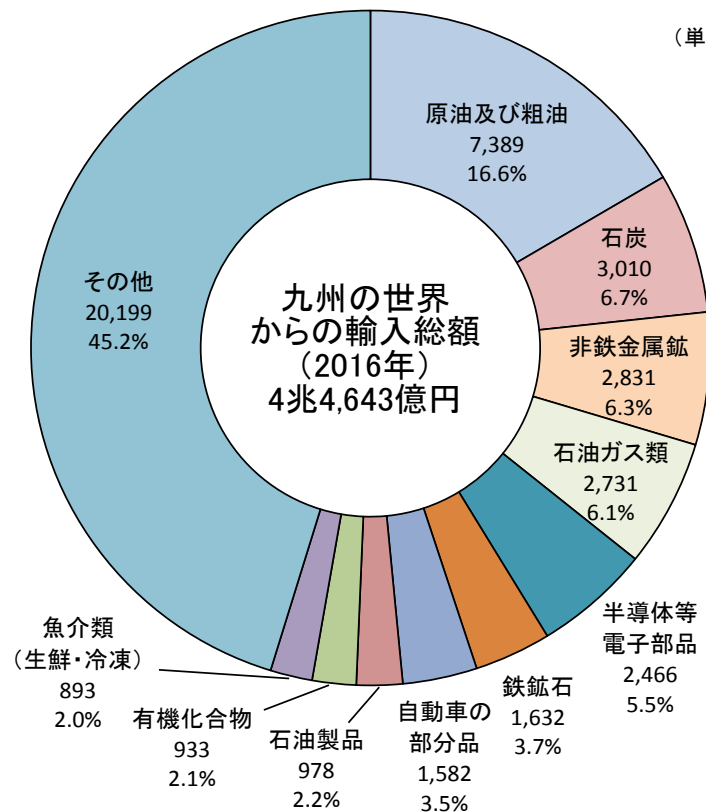
九州から世界への輸出品目(小分類)

(単位: 億円、%)



九州の世界からの輸入品目(小分類)

(単位: 億円、%)



# 九州の国・地域別貿易動向

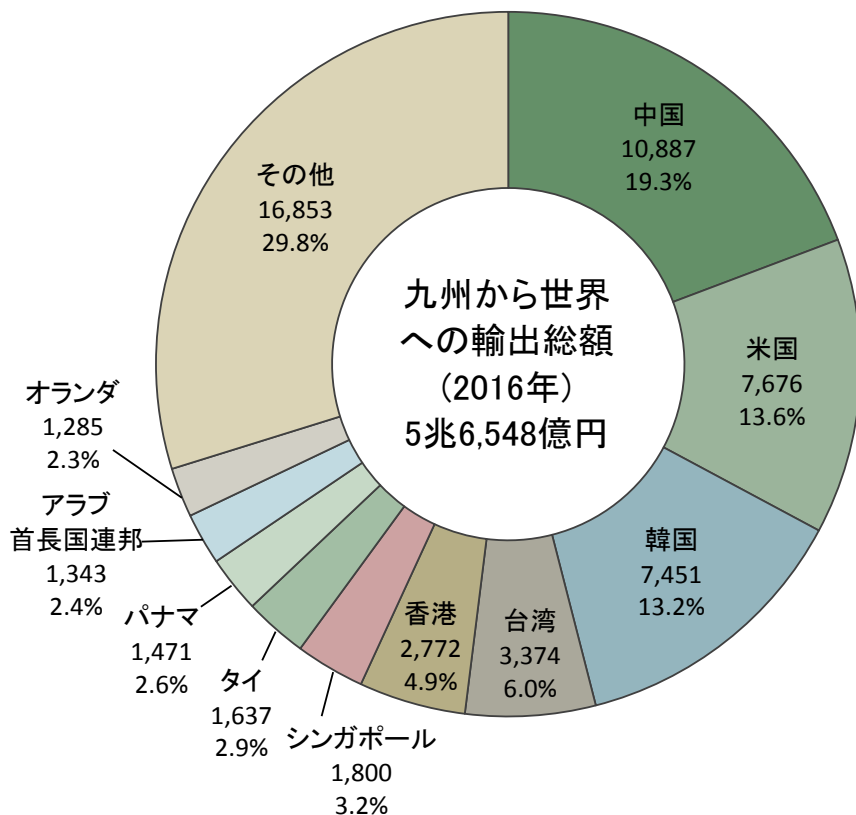
○2016年の九州の最大の貿易相手国は中国であり、米国、韓国が続いている（前年と同順位：貿易総額ベース）。

○輸出相手国としては、中国への輸出額が最も多く、次いで米国、韓国、台湾、香港等となっており、アジア向けの輸出が多い。

○輸入相手国としては、中国からの輸入額が最も多く、次いでオーストラリア、サウジアラビア、韓国、インドネシア等となっており、資源国からの輸入が多い。

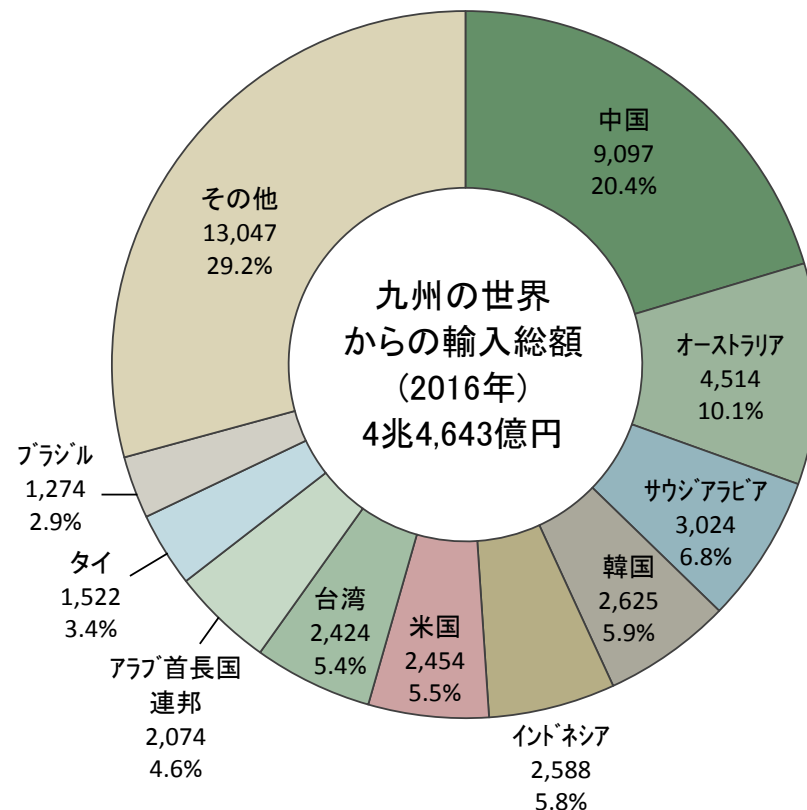
### 九州の輸出相手国・地域

(単位：億円、%)



### 九州の輸入相手国・地域

(単位：億円、%)



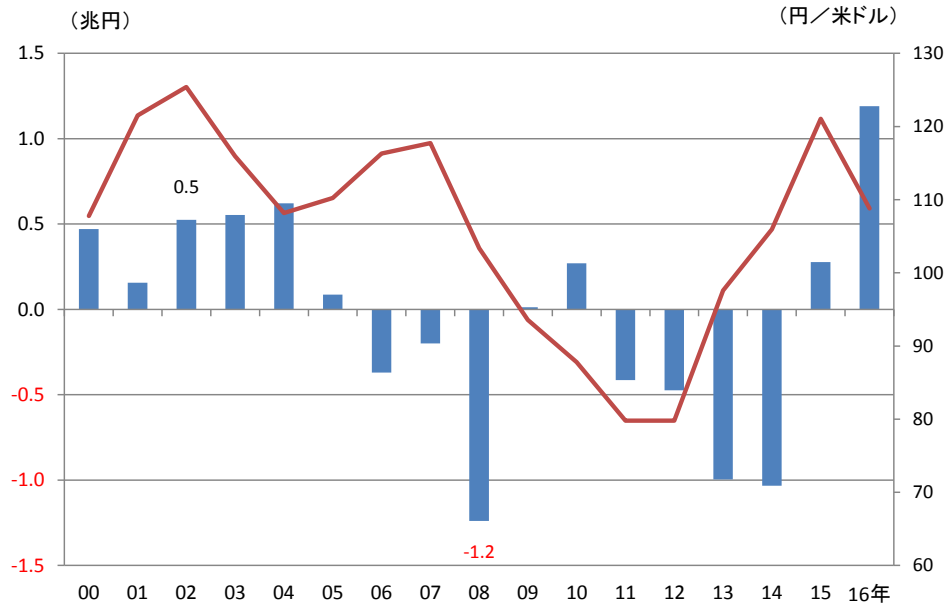
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

# 九州の貿易収支

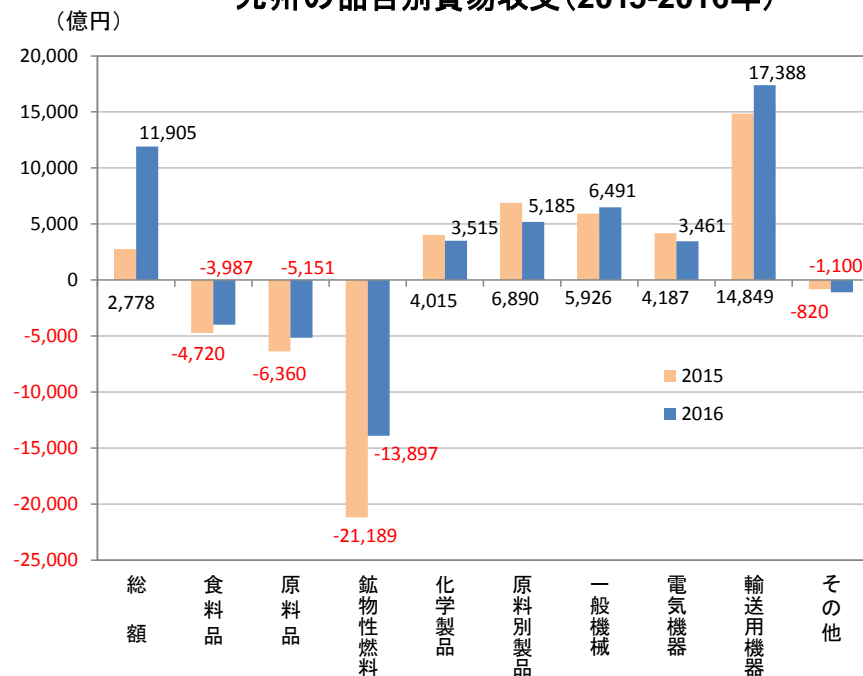
○2016年の九州の貿易収支は+1兆1,905億円で、2年連続の貿易黒字となった。(全国は6年ぶりに貿易黒字)

○品目別では、前年に比べて輸送用機器等の輸出超過額が増加した一方で、鉱物性燃料の輸入超過額の減少がさらに進んだことなどから、九州の貿易収支は前年を上回る大幅な貿易黒字となった。

## 九州の貿易収支と為替相場(円・米ドル)の推移



## 九州の品目別貿易収支(2015-2016年)



## 九州の相手国・地域別貿易収支(2016年)

(単位: 億円)

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
米国	5,221	オーストラリア	▲ 3,707
韓国	4,826	サウジアラビア	▲ 2,341
香港	2,643	インドネシア	▲ 1,842
中国	1,790	ブラジル	▲ 1,080
シンガポール	1,608	ロシア	▲ 777
九州の貿易収支額(2016年) 1兆1,905億円			

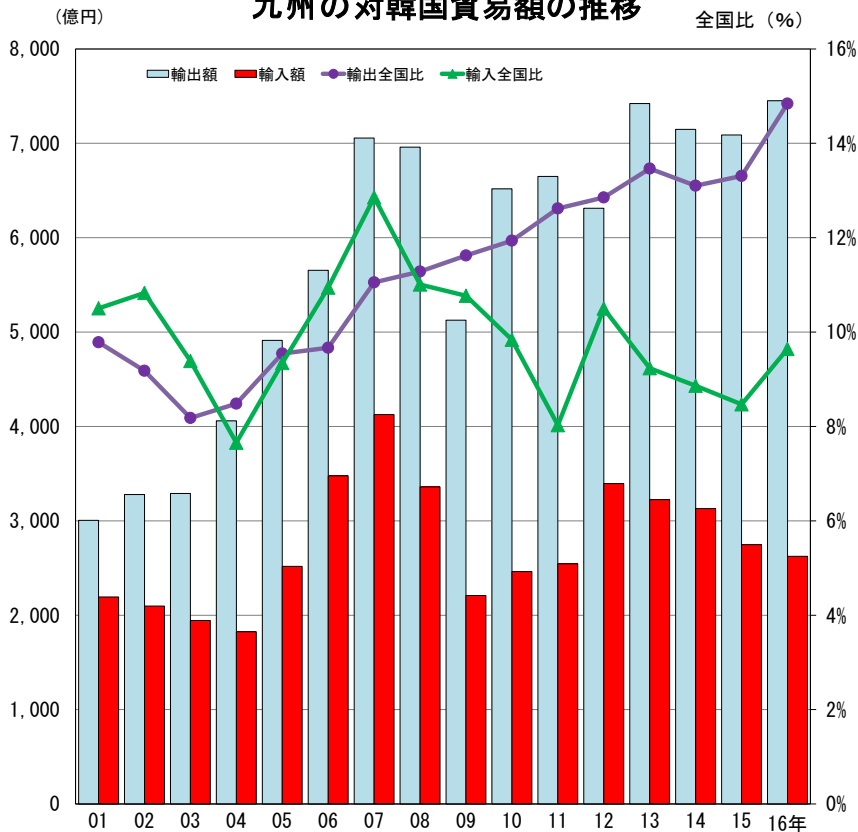
# 九州と韓国の貿易動向

○2016年の九州の対韓国貿易額は、輸出が7,451億円(前年比5.1%増)と3年ぶりに増加した。輸入は2,625億円(前年比4.5%減)と4年連続で減少した。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等製造装置、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等製造装置(寄与度: +11.8%)、自動車(同+1.5%)となっている。一方、減少では、有機化合物(同▲1.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(同▲1.8%)となっている。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、自動車の部分品、鉄鋼のフラットロール製品、石油製品等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、石油製品(揮発油)(寄与度: +3.6%)、半導体等製造装置(同+2.6%)となっている。一方、減少では、石油製品(重油)(同▲4.1%)、通信機(同▲2.6%)、有機化合物(同▲1.5%)となっている。

### 九州の対韓国貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

### 九州の主な対韓国輸出入品目

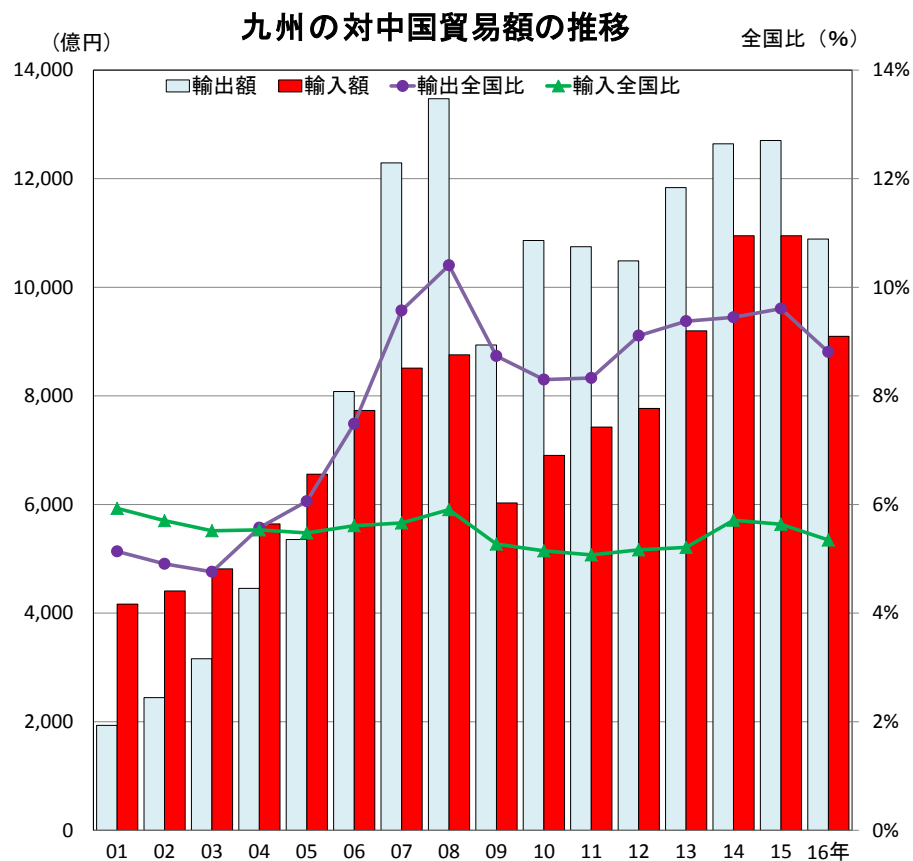
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等製造装置	1,703	22.9%
半導体等電子部品	1,458	19.6%
鉄鋼のフラットロール製品	534	7.2%
プラスチック	456	6.1%
有機化合物	367	4.9%
科学光学機器	349	4.7%
自動車	311	4.2%
原動機	133	1.8%
鉄鋼のくず	112	1.5%
銅及び同合金	85	1.1%
その他	1,942	26.1%
総 額	7,451	100%

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
自動車の部分品	269	10.2%
鉄鋼のフラットロール製品	267	10.2%
石油製品	215	8.2%
半導体等電子部品	150	5.7%
半導体等製造装置	109	4.1%
有機化合物	108	4.1%
鉄鋼製構造物及び同建設機材	60	2.3%
抗生物質製剤	60	2.3%
魚介類(生鮮・冷凍)	54	2.1%
野菜	47	1.8%
その他	1,286	49.0%
総 額	2,625	100%



# 九州と中国の貿易動向

- 2016年の九州の対中国貿易額は、輸出が1兆887億円(前年比14.3%減)と4年ぶりに減少した。輸入は9,097億円(前年比16.9%減)と7年ぶりに減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、半導体等製造装置等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車(寄与度: +4.7%)となっている。一方、減少では、映像機器(同▲4.3%)、有機化合物(同▲2.2%)、科学光学機器(同▲2.0%)となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、半導体等電子部品、自動車の部分品、有機化合物等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、事務用機器(寄与度: ▲3.0%)、半導体等電子部品(同▲2.9%)となっている。



## 九州の主な対中国輸出入品目

主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	3,430	31.5%
半導体等電子部品	951	8.7%
半導体等製造装置	894	8.2%
有機化合物	676	6.2%
銅及び同合金	665	6.1%
鉄鋼のフラットロール製品	567	5.2%
プラスチック	512	4.7%
原動機	444	4.1%
科学光学機器	160	1.5%
鉄鋼のくず	107	1.0%
その他	2,481	22.8%
総 額	10,887	100%

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	674	7.4%
自動車の部分品	641	7.0%
有機化合物	420	4.6%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	258	2.8%
野菜	249	2.7%
植物油かす	234	2.6%
電気回路等の機器	232	2.6%
プラスチック製品	213	2.3%
音響・映像機器(含部品)	186	2.0%
加熱用・冷却用機器	172	1.9%
その他	5,816	63.9%
総 額	9,097	100%

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

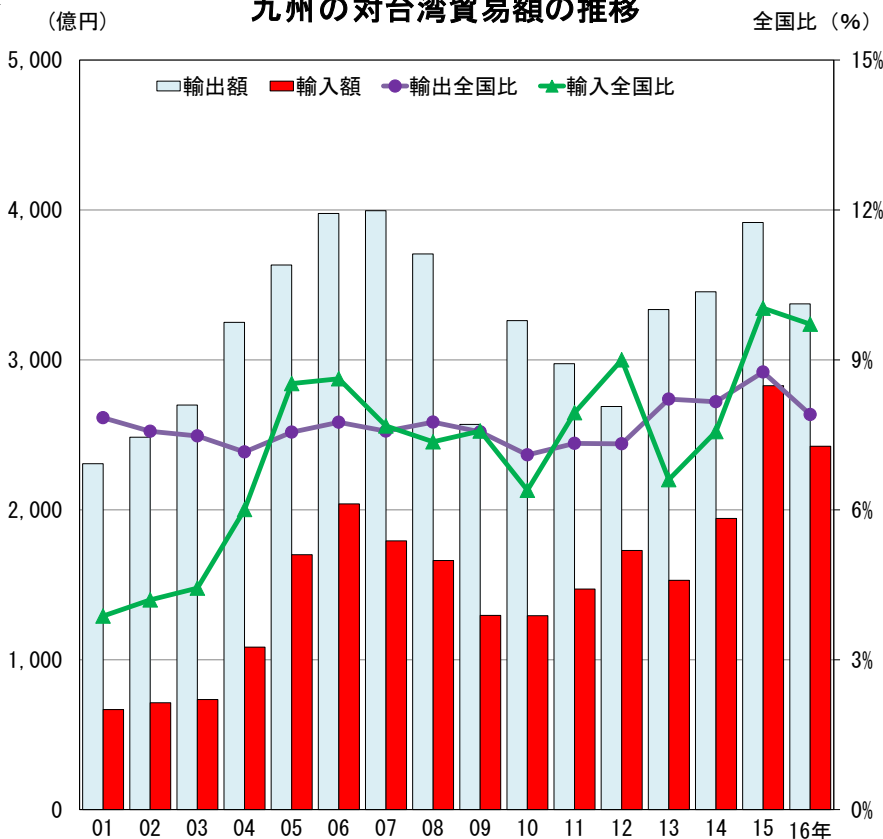
# 九州と台湾の貿易動向

○2016年の九州の対台湾貿易額は、輸出が3,374億円(前年比13.8%減)と4年ぶりに減少した。輸入は2,424億円(前年比14.3%減)と3年ぶりに減少した。

○輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、半導体等製造装置等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、有機化合物(寄与度: +1.3%)、自動車(同+1.2%)となっている。一方、減少では、半導体等電子部品(同▲4.6%)、半導体等製造装置(同▲1.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(同▲1.3%)となっている。

○輸入品目は、輸入額が多い順に、半導体等電子部品、科学光学機器、非鉄卑金属くず等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、音響・映像機器(含部品)(寄与度: ▲4.0%)、科学光学機器(同▲1.8%)となっている。

### 九州の対台湾貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

### 九州の主な対台湾輸出入品目

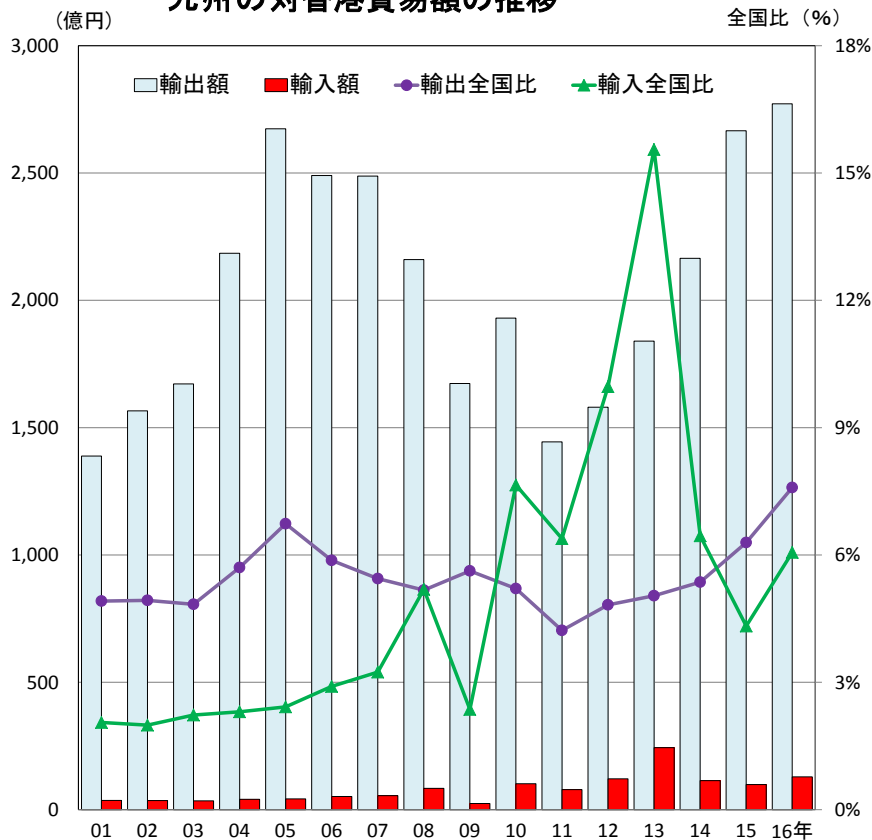
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	492	14.6%
半導体等電子部品	396	11.7%
半導体等製造装置	328	9.7%
有機化合物	292	8.7%
銅及び同合金	121	3.6%
科学光学機器	115	3.4%
無機化合物	91	2.7%
鉄鋼のフラットロール製品	79	2.3%
原動機	40	1.2%
ポンプ及び遠心分離機	34	1.0%
その他	1,387	41.1%
総 額	3,374	100.0%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	1,499	61.8%
科学光学機器	147	6.1%
非鉄卑金属くず	56	2.3%
プラスチック	51	2.1%
有機化合物	48	2.0%
音響・映像機器(含部品)	21	0.9%
プラスチック製品	17	0.7%
重電機器	15	0.6%
無機化合物	14	0.6%
鉄鋼のフラットロール製品	13	0.5%
その他	543	22.4%
総 額	2,424	100%

# 九州と香港の貿易動向

- 2016年の九州の対香港貿易額は、輸出が2,772億円(前年比4.0%増)と5年連続で増加した。輸入は129億円(前年比31.6%増)と3年ぶりに増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、船舶類、映像機器等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品(寄与度: +8.5%)、船舶類(同+1.2%)、電気回路等の機器(同+1.0%)となっている。一方、減少では、石油製品(灯油(含ジェット燃料油))(同▲1.9%)、映像機器(同▲1.9%)となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、魚介類(生鮮・冷凍)(うなぎの稚魚)、非鉄卑金属くず、ポンプ及び遠心分離器等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、魚介類(生鮮・冷凍)(うなぎの稚魚)(寄与度: +39.0%)、非鉄卑金属くず(同+7.2%)となっている。

## 九州の対香港貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

## 九州の主な対香港輸出入品目

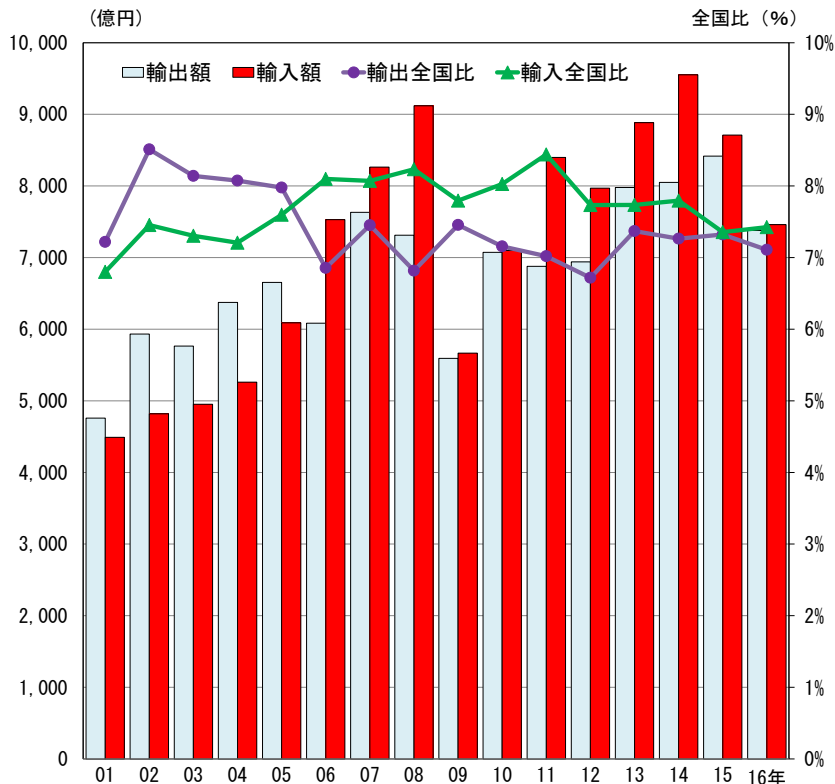
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	1,627	58.7%
船舶類	282	10.2%
映像機器	66	2.4%
建設用・鉱山用機械	53	1.9%
電気回路等の機器	42	1.5%
自動車	30	1.1%
ゴムタイヤ及びチューブ	25	0.9%
電気計測機器	22	0.8%
半導体等製造装置	21	0.8%
化粧品	20	0.7%
その他	583	21.0%
総 額	2,772	100.0%

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
魚介類(生鮮・冷凍)	90	70.2%
非鉄卑金属くず	7	5.8%
ポンプ及び遠心分離機	1	0.8%
事務用機器	0.3	0.2%
電気計測機器	0.3	0.2%
時計及び部分品	0.2	0.2%
がん具及び遊戯用具	0.2	0.2%
プラスチック製品	0.2	0.1%
電気回路等の機器	0.1	0.1%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	0.1	0.1%
その他	28	22.1%
総 額	129	100.0%

# 九州とASEANの貿易動向①

- 2016年の九州の対ASEAN貿易額は、輸出が7,378億円(前年比12.3%減)と5年ぶりに減少した。輸入は7,460億円(前年比14.4%減)と2年連続で減少した。
- 九州からの輸出は、シンガポール向けが1,800億円(前年比22.7%減)、タイ向けが1,637億円(同5.4%減)となるなど、2ヶ国(カンボジア、ラオス)向けを除き減少した。輸入は、インドネシアからは2,588億円(同9.2%減)、タイからは1,522億円(同11.6%減)となるなど、1ヶ国(ミャンマー)からを除き減少した。

## 九州の対ASEAN貿易額の推移



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

## 九州のASEAN域内における国別輸出入動向

(単位: 億円、%)

国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	1,254	17.0%	-7.9%	-1.3%	8.9%	1,101	14.8%	-3.2%	-0.4%	6.2%
タイ	1,637	22.2%	-5.4%	-1.10%	5.5%	1,522	20.4%	-11.6%	-2.3%	7.0%
シンガポール	1,800	24.4%	-22.7%	-6.3%	8.4%	192	2.6%	-47.3%	-2.0%	2.4%
マレーシア	1,156	15.7%	-8.3%	-1.24%	8.8%	782	10.5%	-37.2%	-5.3%	4.2%
ブルネイ	10	0.1%	-18.8%	-0.03%	10.8%	0.1	0.002%	-99.9%	-1.1%	0.01%
フィリピン	679	9.2%	-8.1%	-0.71%	6.0%	1,217	16.3%	-1.0%	-0.1%	12.4%
インドネシア	745	10.1%	-15.8%	-1.7%	6.1%	2,588	34.7%	-9.2%	-3.0%	13.0%
カンボジア	27	0.4%	40.1%	0.09%	8.0%	29	0.4%	-24.7%	-0.11%	2.2%
ラオス	2	0.03%	70.7%	0.01%	1.6%	3	0.05%	-9.6%	-0.004%	2.7%
ミャンマー	69	0.9%	-16.0%	-0.16%	6.1%	27	0.4%	2.9%	0.01%	2.6%
ASEAN 計	7,378	100.0%	-12.3%	-12.3%	7.1%	7,460	100.0%	-14.4%	-14.4%	7.4%

# 九州とASEANの貿易動向②

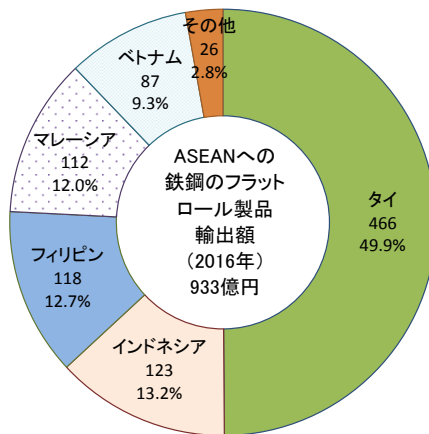
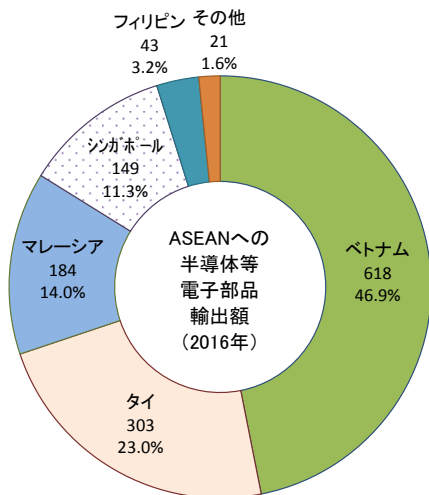
- 輸出品目では、輸出額が大きい順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、金(マネタリーゴールドを除く。)等となっている。
- 輸入品目は、輸入額が大きい順に、石油ガス類(液化天然ガス)、絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱(銅鉱等)等となっている。

## 九州の主な対ASEAN輸出入品目

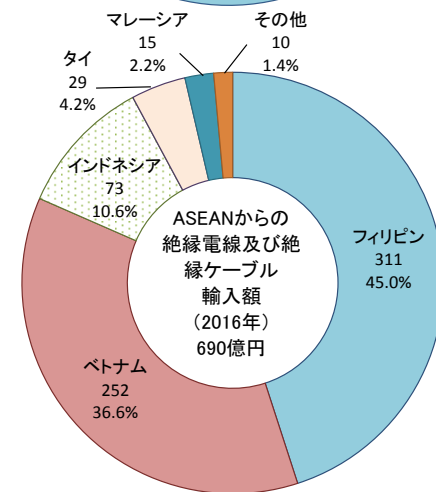
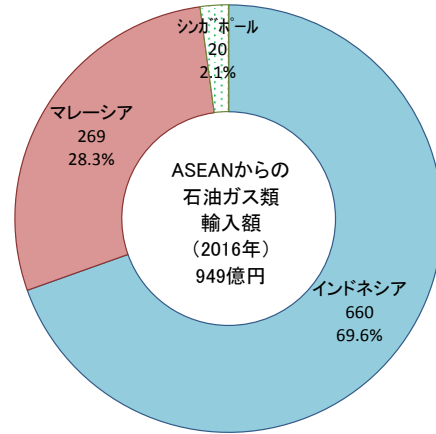
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	1,317	17.9%
鉄鋼のフラットロール製品	933	12.6%
金(マネタリーゴールドを除く)	631	8.5%
船舶類	504	6.8%
自動車	482	6.5%
有機化合物	267	3.6%
事務用機器	245	3.3%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	231	3.1%
荷役機械	155	2.1%
自動車の部分品	138	1.9%
その他	2,474	33.5%
総 額	7,378	100%

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類(液化天然ガス)	949	12.7%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	690	9.3%
非鉄金属鉱(銅鉱等)	658	8.8%
天然ゴム	407	5.4%
石炭	403	5.4%
自動車の部分品	359	4.8%
音響・映像機器(含部品)	170	2.3%
原油及び粗油	137	1.8%
半導体等電子部品	126	1.7%
果実	116	1.6%
その他	3,445	46.2%
総 額	7,460	100%

## 九州のASEANへの主要輸出品目別相手国



## 九州のASEANからの主要輸入品目別相手国

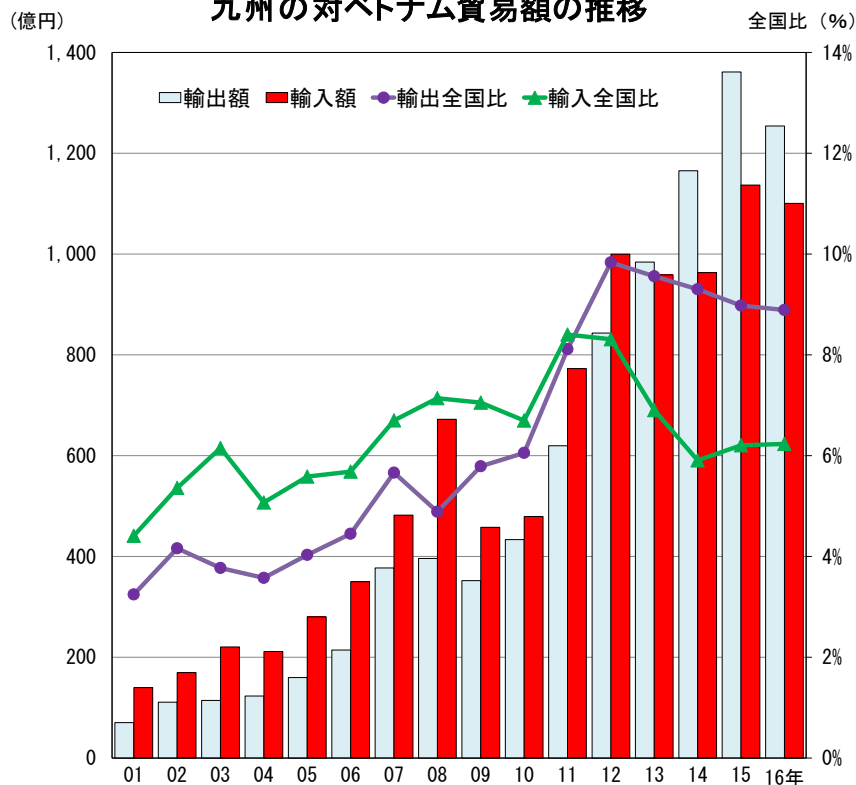


出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

# 九州とベトナムの貿易動向

- 2016年の九州の対ベトナム貿易額は、輸出が1,254億円(前年比7.9%減)と7年ぶりに減少した。輸入は1,101億円(前年比3.2%減)と3年ぶりに減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、事務用機器等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、科学光学機器(寄与度: +2.2%)、原動機(同+1.2%)、自動車の部分品(同+1.2%)となっている。一方、減少では、半導体等電子部品(同▲6.6%)、鉄鋼のフラットロール製品(同▲3.0%)、事務用機器(同▲1.6%)となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、絶縁電線及び絶縁ケーブル、パルプウッド等、メリヤス編み及びクロセ編み衣類等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、メリヤス編み及びクロセ編み衣類(同+3.9%)となっている。一方、減少では、パルプウッド等(寄与度: ▲2.7%)、魚の粉及びミール(同▲1.3%)、原油及び粗油(同▲1.1%)となっている。

## 九州の対ベトナム貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

## 九州の主な対ベトナム輸出入品目

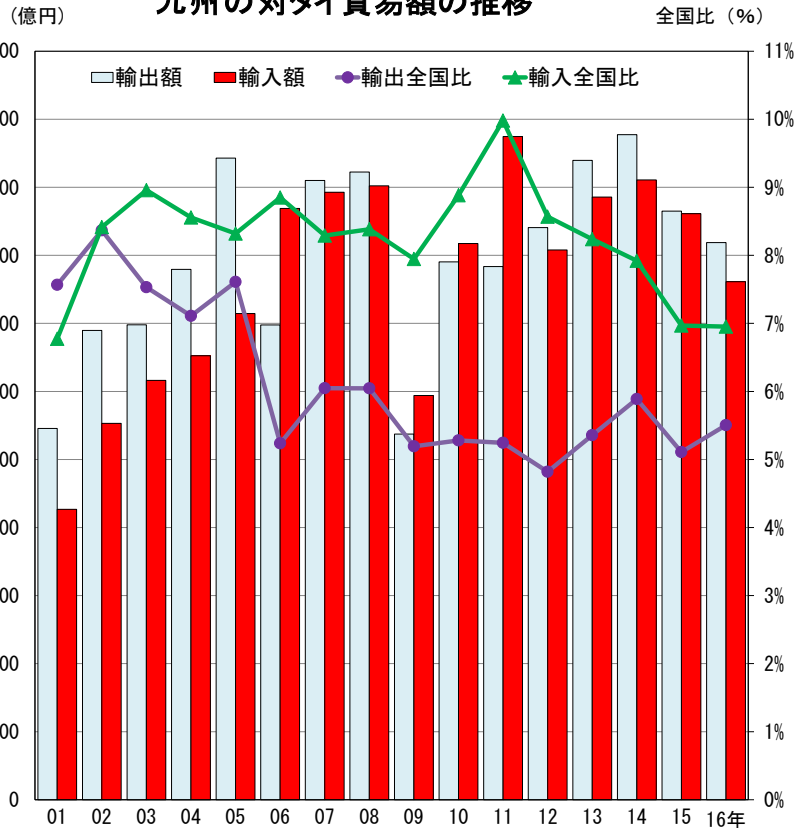
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	618	49.2%
鉄鋼のフラットロール製品	87	7.0%
事務用機器	57	4.6%
魚介類(生鮮)	43	3.4%
科学光学機器	39	3.1%
建設用・鉱山用機械	35	2.8%
有機化合物	34	2.7%
鉄鋼のくず	28	2.2%
荷役機械	25	2.0%
原動機	22	1.7%
その他	266	21.2%
総 額	1,254	100%

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	252	22.9%
パルプウッド等	76	6.9%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	54	4.9%
プラスチック製品	38	3.4%
魚介類の調製品	35	3.2%
魚介類(生鮮・冷凍)	31	2.9%
合金鉄	26	2.3%
衣類	25	2.3%
コック・弁類	25	2.2%
原動機	21	1.9%
その他	517	47.0%
総 額	1,101	100.0%

# 九州とタイの貿易動向

- 2016年の九州の対タイ貿易額は、輸出が1,637億円(前年比5.4%減)、輸入が1,522億円(前年比11.6%減)と、輸出入とも2年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、鉄鋼の棒・形鋼及び線等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品(寄与度: +2.7%)、科学光学機器(同+1.9%)、有機化合物(同+1.4%)となっている。一方、減少では、鉄鋼のフラットロール製品(同▲6.1%)、銅及び同合金(同▲3.2%)、自動車の部分品(同▲1.5%)となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、天然ゴム、自動車の部分品、音響・映像機器(含部品)等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、天然ゴム(寄与度: ▲2.5%)、半導体等電子部品(同▲2.1%)、魚の粉及びミール(同▲1.4%)となっている。

### 九州の対タイ貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

### 九州の主な対タイ輸出入品目

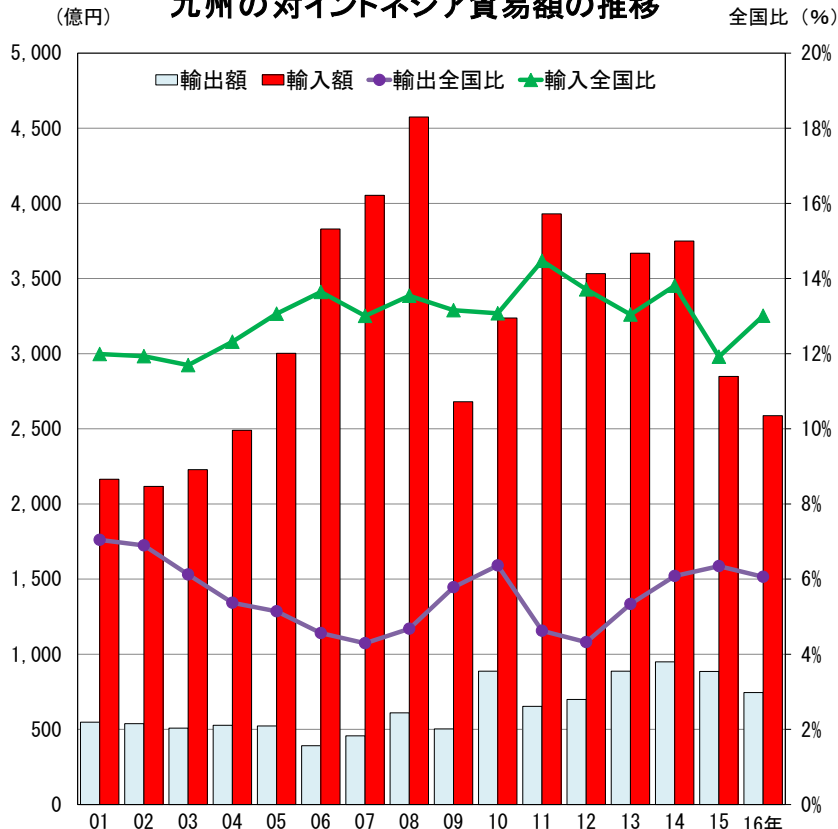
輸出品目(小分類)	輸出額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	466	28.4%
半導体等電子部品	303	18.5%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	160	9.8%
有機化合物	93	5.7%
銅及び同合金	52	3.2%
科学光学機器	43	2.6%
自動車の部分品	26	1.6%
建設用・鉱山用機械	21	1.3%
ポリエチレン	19	1.1%
石油製品	18	1.1%
その他	437	26.7%
総 額	1,637	100.0%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
天然ゴム	183	12.0%
自動車の部分品	182	11.9%
音響・映像機器(含部品)	58	3.8%
非鉄卑金属くず	36	2.4%
砂糖	35	2.3%
米	35	2.3%
電気回路等の機器	32	2.1%
電気計測機器	32	2.1%
合成樹脂	29	1.9%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	29	1.9%
その他	872	57.3%
総 額	1,522	100.0%

# 九州とインドネシアの貿易動向

- 2016年の九州の対インドネシア貿易額は、輸出が745億円(前年比15.8%減)、輸入が2,588億円(前年比9.2%減)と、輸出入とも2年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、荷役機械等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、加熱用・冷却用機器(寄与度: +2.4%)となっている。一方、減少では、自動車(同▲6.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ(同▲3.0%)、軌条及びその他の鉄道線路建設材(同▲2.7%)となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油ガス類(液化天然ガス)、非鉄金属鉱(銅鉱)、石炭等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、非鉄金属鉱(銅鉱)(寄与度: +7.4%)となっている。一方、減少では、原油及び粗油(同▲10.4%)、石炭(同▲3.0%)、天然ゴム(同▲1.9%)となっている。

## 九州の対インドネシア貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

## 九州の主な対インドネシア輸出入品目

主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	123	16.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	73	9.8%
荷役機械	63	8.4%
有機化合物	55	7.4%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	52	7.0%
自動車	39	5.2%
原動機	36	4.8%
船舶類	28	3.7%
無機化合物	26	3.5%
加熱用・冷却用機器	24	3.2%
その他	227	30.5%
総 額	745	100.0%

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類(液化天然ガス)	660	25.5%
非鉄金属鉱(銅鉱)	471	18.2%
石炭	403	15.6%
天然ゴム	223	8.6%
原油及び粗油	123	4.8%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	73	2.8%
自動車の部分品	65	2.5%
すず及び同合金	49	1.9%
魚介類(生鮮・冷凍)	47	1.8%
紙及び板紙	44	1.7%
その他	429	16.6%
総 額	2,588	100.0%



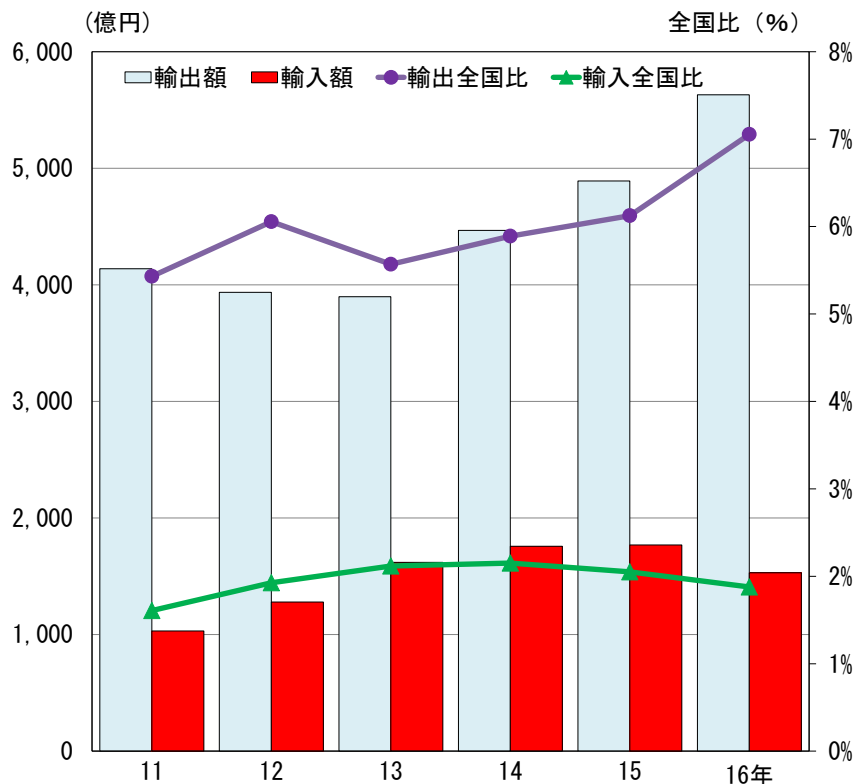
# 九州とEUの貿易動向①

○2016年の九州の対EU貿易額は、輸出が5,631億円(前年比15.1%増)と3年連続で増加した。輸入は1,531億円(前年比13.5%減)と5年ぶりに減少した。

○九州からの輸出は、オランダ向けが1,285億円(前年比6.4%減)、イタリア向けが876億円(前年比185.3%増)、ドイツ向けが756億円(前年比2.5%減)等となっている。なお、英国は、734億円(前年比8.8%増、EU内比率13.0%)と4年連続で増加した。

○九州への輸入は、ドイツからが369億円(前年比17.8%減)、フランスが361億円(前年比16.8%増)、スペインが160億円(前年比24.2%減)等となっている。なお、英国は、150億円(前年比16.8%減、EU内比率9.8%)と前年より減少した。

### 九州の対EU貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

### 九州のEU域内における国別輸出入動向(上位10ヶ国)

国名	輸出額(億円)	構成比(%)
オランダ	1,285	22.8%
イタリア	876	15.6%
ドイツ	756	13.4%
英国	734	13.0%
スペイン	501	8.9%
ベルギー	426	7.6%
フランス	357	6.3%
マルタ	287	5.1%
スウェーデン	91	1.6%
アイルランド	63	1.1%
その他	255	4.5%
EU計	5,631	100.0%

国名	輸入額(億円)	構成比(%)
ドイツ	369	24.1%
フランス	361	23.6%
スペイン	160	10.5%
英国	150	9.8%
イタリア	92	6.0%
オランダ	84	5.5%
デンマーク	67	4.4%
フィンランド	52	3.4%
スウェーデン	47	3.1%
ベルギー	27	1.8%
その他	120	7.9%
EU計	1,531	100.0%

# 九州とEUの貿易動向②

○輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、船舶類、事務用機器等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、船舶類（寄与度：+15.0%）、自動車（同+6.6%）となっている。一方、減少では、映像機器（同▲3.0%）、事務用機器（同▲1.3%）、ゴムタイヤ及びチューブ（同▲1.1%）となっている。

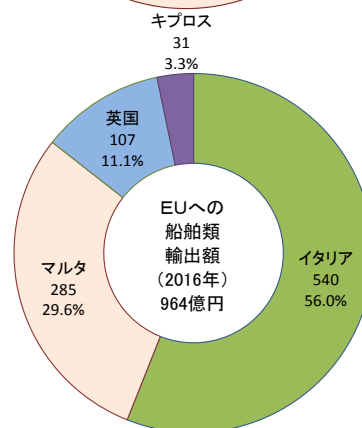
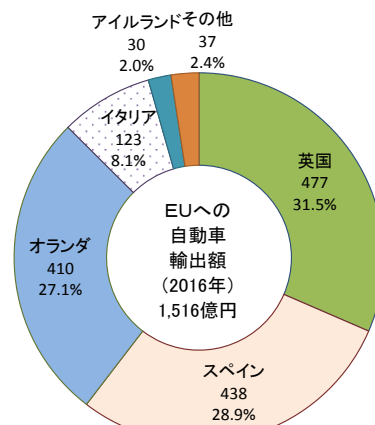
○輸入品目は、輸入額が多い順に、原動機、自動車の部分品、電気計測器等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、航空機類（寄与度：+2.0%）となっている。一方、減少では、大麦及びはだか麦（同▲2.4%）、音響・映像機器（含部品）（同▲1.5%）、重電機器（同▲1.2%）となっている。

## 九州の主な対EU輸出入品目

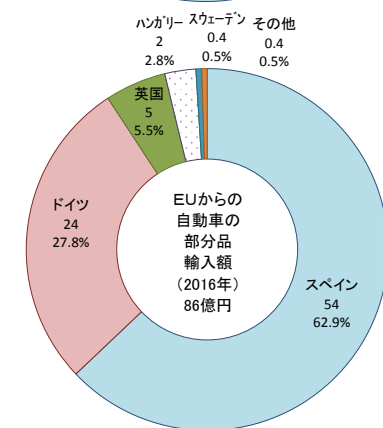
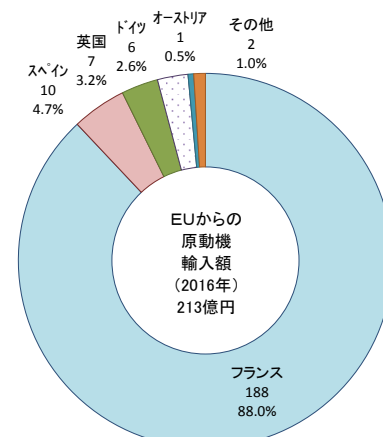
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	1,516	26.9%
船舶類	964	17.1%
事務用機器	464	8.2%
半導体等電子部品	436	7.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	355	6.3%
二輪自動車類	279	5.0%
ポンプ及び遠心分離機	144	2.6%
映像機器	136	2.4%
鉄鋼のフラットロール製品	109	1.9%
自動車用等の電気機器	102	1.8%
その他	1,127	20.0%
総計	5,631	100.0%

主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
原動機	213	13.9%
自動車の部分品	86	5.6%
電気計測機器	65	4.2%
航空機類	60	3.9%
豚・いのししの肉(生鮮・冷凍)	60	3.9%
有機化合物	56	3.7%
無機化合物	42	2.7%
音響・映像機器(含部品)	30	1.9%
紙及び板紙	26	1.7%
木材	24	1.6%
その他	869	56.8%
総額	1,531	100.0%

## 九州のEUへの主要輸出品目別相手国



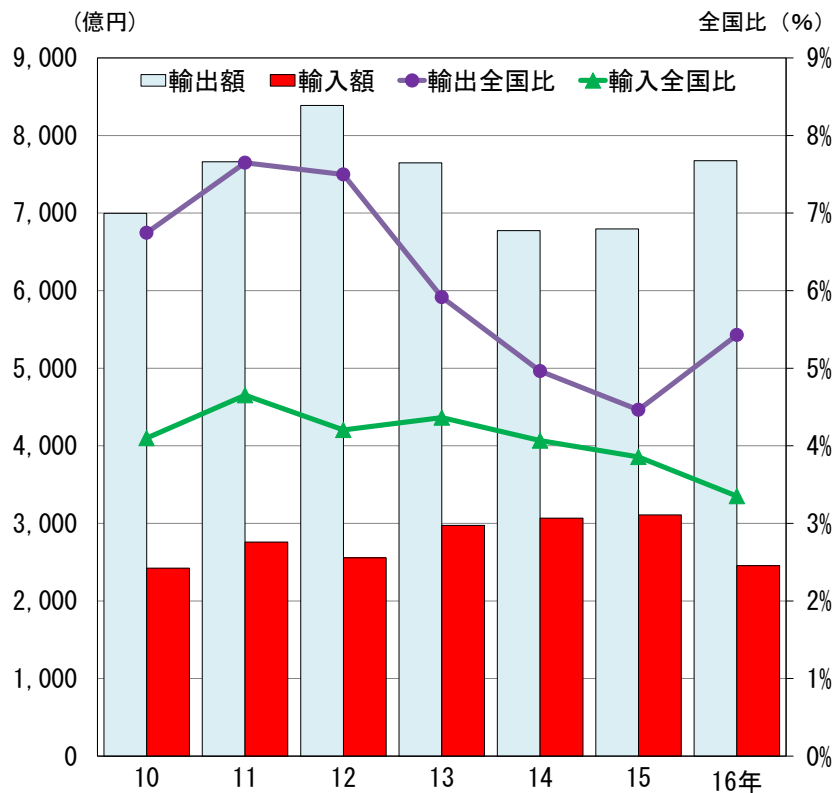
## 九州のEUからの主要輸入品目別相手国



# 九州と米国の貿易動向

- 2016年の九州の対米貿易額は、輸出が7,676億円(前年比13.0%増)と2年連続で増加した。輸入は2,454億円(前年比21.0%減)と4年ぶりに減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車(寄与度: +19.5%)となっている。一方、減少では、映像機器(同▲3.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(同▲1.2%)となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、とうもろこし、石油ガス類(液化石油ガス)、石炭等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、原油及び粗油(寄与度: +1.4%)、音響・映像機器(含部品)(同+1.1%)となっている。一方、減少では、とうもろこし(同▲3.6%)、石油製品(同▲2.8%)、原動機(同▲2.4%)となっている。

### 九州の対米貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

### 九州の主な対米輸出入品目

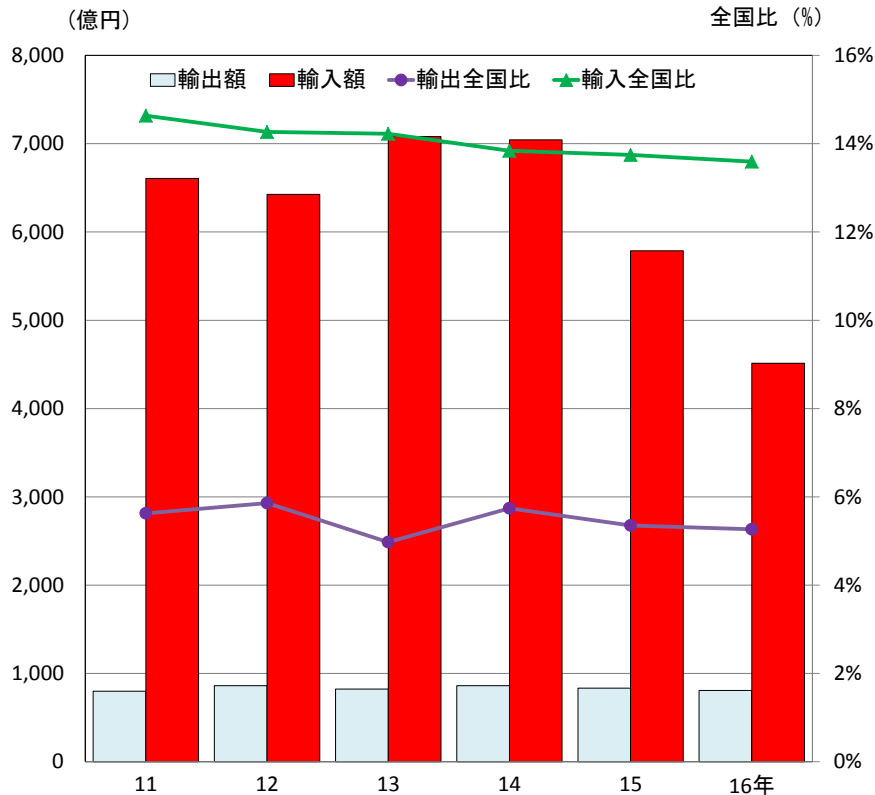
主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	3,555	46.3%
事務用機器	485	6.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	407	5.3%
半導体等電子部品	345	4.5%
原動機	297	3.9%
自動車の部分品	184	2.4%
二輪自動車類	175	2.3%
映像機器	165	2.1%
自動車用等の電気機器	142	1.9%
鉄鋼のフラットロール製品	133	1.7%
その他	1,788	23.3%
総 額	7,676	100%

輸入品目(小分類)	輸入額(億円)	構成比(%)
とうもろこし	545	22.2%
石油ガス類(液化石油ガス)	190	7.7%
石炭	154	6.3%
魚介類(生鮮・冷凍)	118	4.8%
有機化合物	96	3.9%
無機化合物	93	3.8%
石油製品	75	3.1%
音響・映像機器(含部品)	73	3.0%
原動機	70	2.8%
米	67	2.7%
その他	974	39.7%
総 額	2,454	100%

# 九州とオーストラリアの貿易動向

- 2016年の九州の対オーストラリア貿易額は、輸出が807億円(前年比3.1%減)と2年連続で減少した。輸入は4,514億円(前年比22.0%減)と3年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、軌条及びその他の鉄道線路建設材等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車(寄与度: +8.3%)、軌条及びその他の鉄道線路建設材(同+5.2%)となっている。一方、減少では、映像機器(同▲5.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(同▲2.4%)、セメント(同▲1.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(同▲1.3%)となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石炭、鉄鉱石、石油ガス類(液化天然ガス等)等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、鉄鉱石(寄与度: ▲7.7%)、石油ガス類(液化天然ガス等)(同▲5.9%)、石炭(同▲5.1%)、非鉄金属鉱(銅鉱等)(同▲2.1%)となっている。

### 九州の対オーストラリア貿易額の推移



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

### 九州の主な対オーストラリア輸出入品目

主な輸出品目	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	307	38.0%
ゴムタイヤ及びチューブ	216	26.8%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	50	6.1%
セメント	49	6.0%
映像機器	28	3.5%
建設用・鉱山用機械	24	3.0%
加熱用・冷却用機器	24	3.0%
二輪自動車類	21	2.6%
自動車用等の電気機器	21	2.6%
鉄鋼のフラットロール製品	10	1.3%
その他	57	7.0%
総 額	807	100.0%

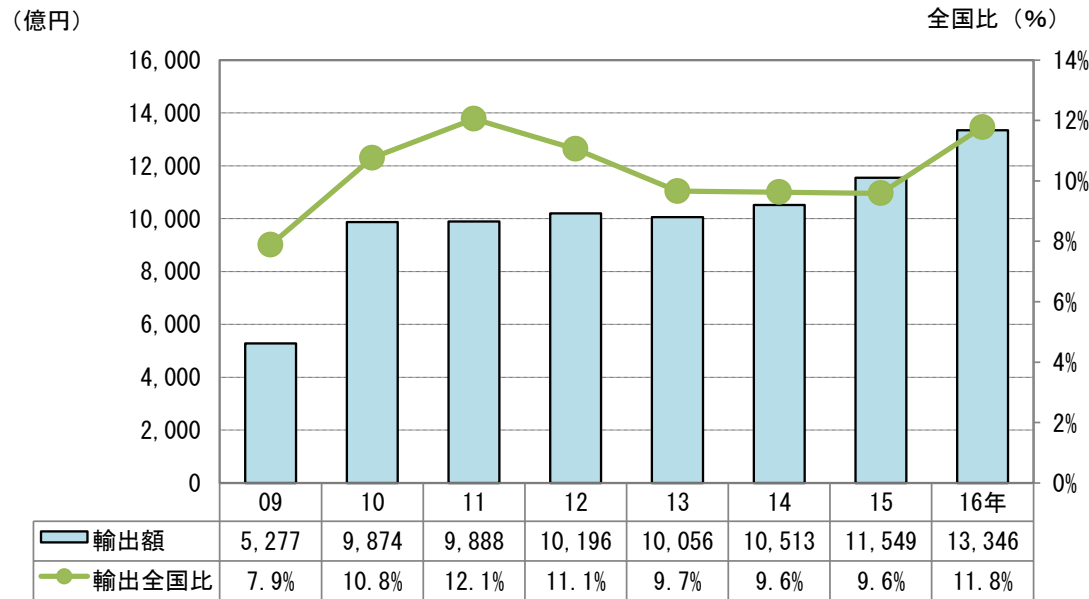
主な輸入品目	輸入額(億円)	構成比(%)
石炭	1,934	42.9%
鉄鉱石	832	18.4%
石油ガス類(液化天然ガス等)	712	15.8%
非鉄金属鉱(銅鉱等)	646	14.3%
大麦及びはだか麦	104	2.3%
砂糖	39	0.9%
小麦及びメスリン	23	0.5%
アルミニウム及び同合金	15	0.3%
バルブウッド等	15	0.3%
その他の採油用種子	13	0.3%
その他	180	4.0%
総 額	4,514	100.0%

# 九州の産業別貿易動向①(自動車)

○2016年の九州の自動車輸出額は1兆3,346億円(前年比15.6%増)と、3年連続の増加となった。輸出先は、米国が最も多く、次いで中国、アラブ首長国連邦等となっている。

○2016年の九州の自動車生産台数は、135万台(前年比0.1%増)で、日本全体の生産台数(920万台)の約15%を占めている。

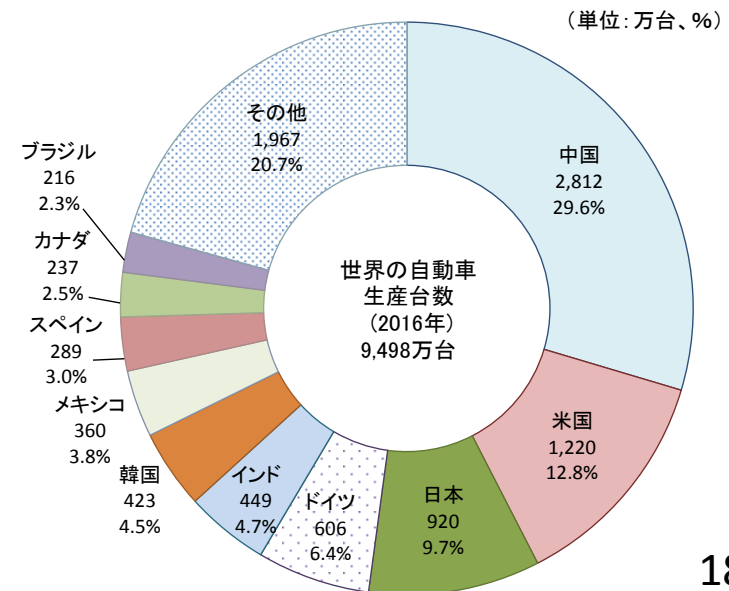
### 九州の自動車輸出額の推移



### 九州の自動車の主な輸出相手国・地域

2016年	2016年	
	金額(億円)	構成比(%)
米国	3,555	26.6%
中国	3,430	25.7%
アラブ首長国連邦	932	7.0%
メキシコ	717	5.4%
台湾	492	3.7%
その他	4,222	31.6%
計	13,346	100.0%

### 世界の自動車生産台数(右図)



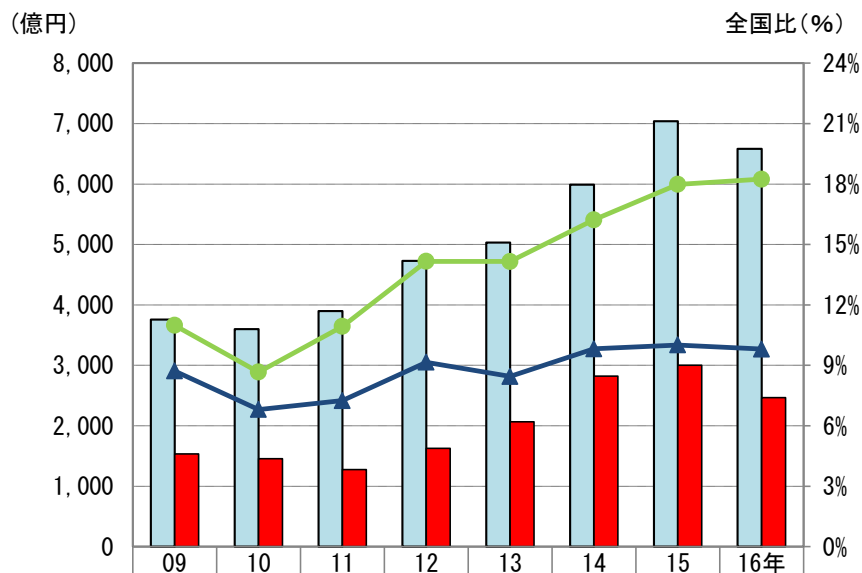
# 九州の産業別貿易動向②(半導体等電子部品)

○2016年の九州の半導体等電子部品貿易額は、輸出が6,581億円(前年比6.5%減)、輸入が2,466億円(前年比17.8%減)で、輸出入ともに前年より減少した。輸出先は香港が最も多く、次いで韓国、中国等となっている。輸入元については、台湾が最も多く、次いで中国、韓国等となっている。

○九州からの輸出相手国・地域では、香港、韓国、米国向けの割合が増加した一方、ASEAN、中国、台湾向けの割合は減少した。

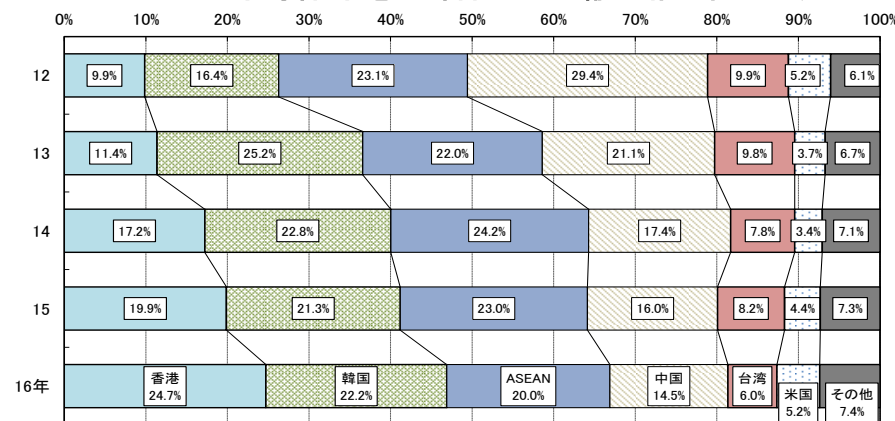
○九州への輸入相手国・地域では、台湾からの割合が増加し6割を占めるようになった一方、中国、ASEANからの割合は減少した。

### 九州の半導体等電子部品の貿易額推移

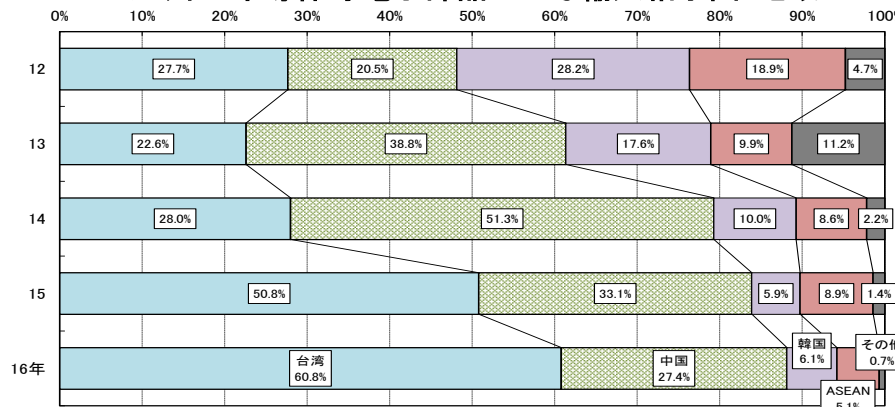


輸出額	3,756	3,600	3,898	4,730	5,030	5,989	7,039	6,581
輸入額	1,533	1,454	1,277	1,628	2,066	2,820	3,000	2,466
輸出全国比	11.0%	8.7%	10.9%	14.2%	14.2%	16.2%	18.0%	18.2%
輸入全国比	8.7%	6.8%	7.2%	9.2%	8.4%	9.8%	10.0%	9.8%

### 九州の半導体等電子部品の主な輸出相手国・地域

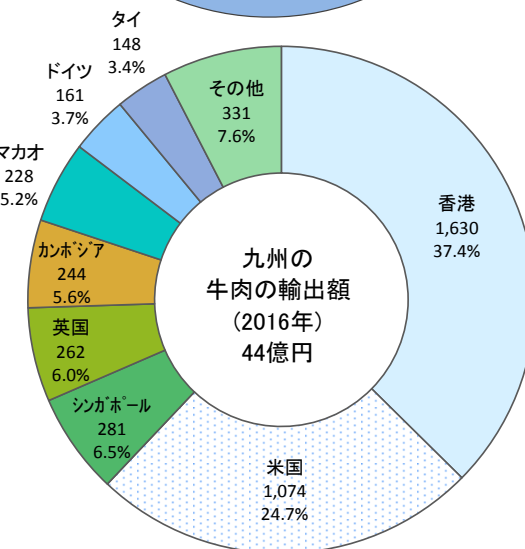
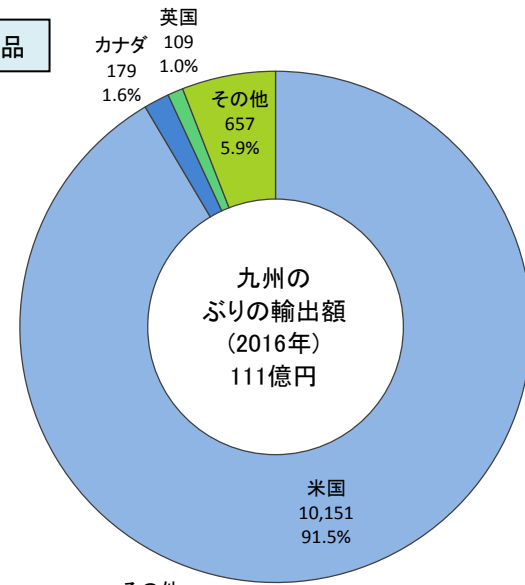
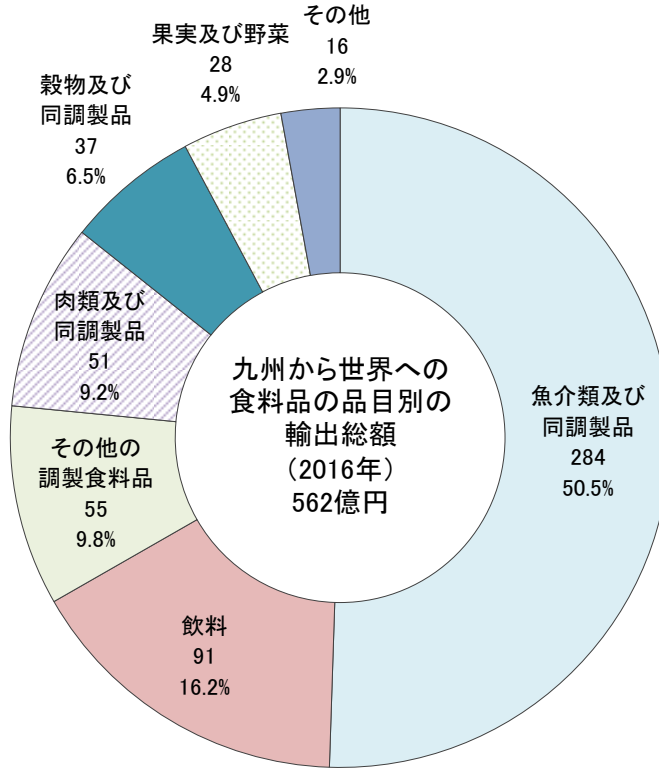
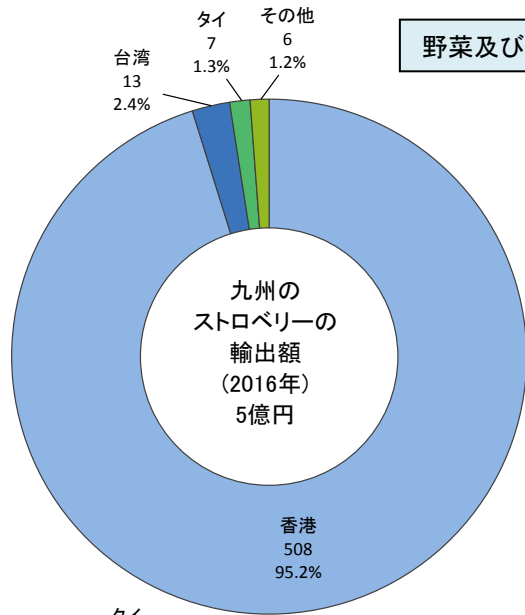


### 九州の半導体等電子部品の主な輸入相手国・地域



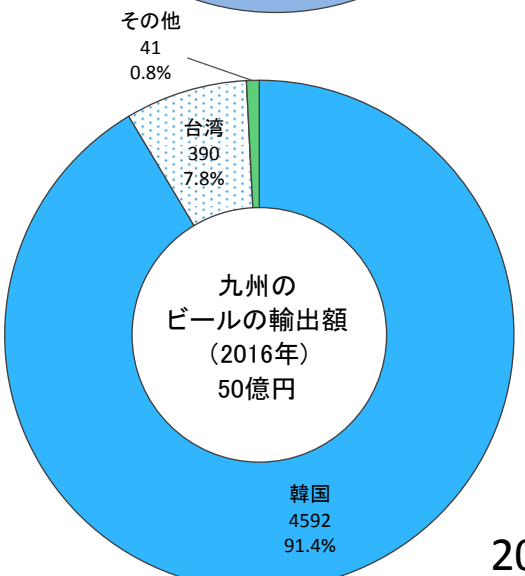
# 九州の産業別貿易動向③(食料品)

○九州の食料品について品目別に見ると、魚介類及び同調製品の輸出額が最も多く、次いで飲料、その他の調整食料品、肉類及び同調製品等となっている。ぶりは米国、ビールは韓国、牛肉とストロベリーは香港向けが最も多い。



**肉類及び同調製品**

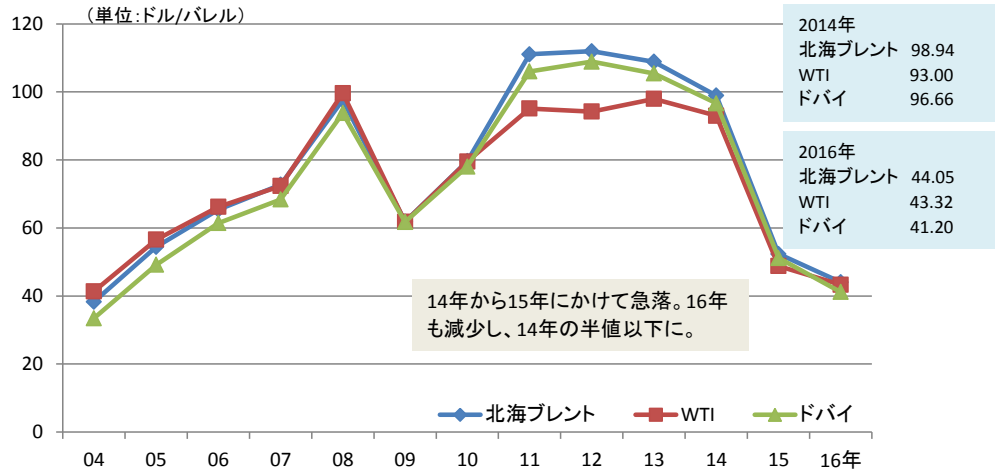
**飲料**



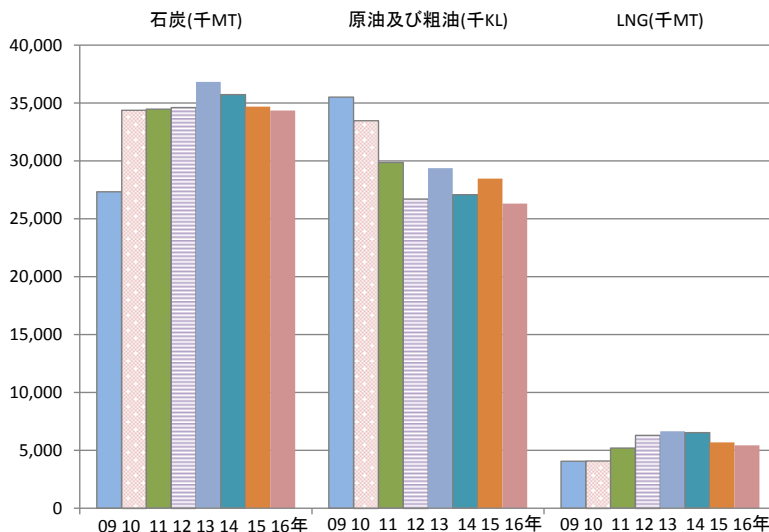
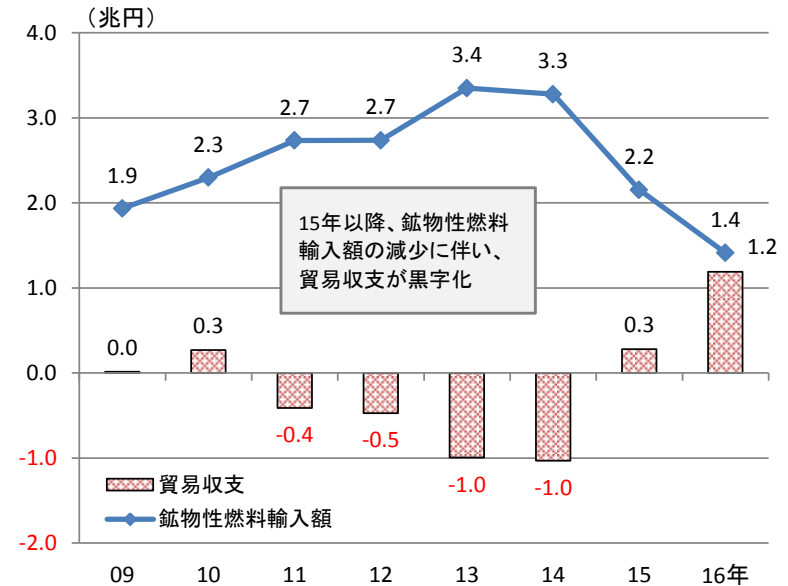
# 九州の産業別貿易動向④(鉱物性燃料)

○2016年の九州の鉱物性燃料の輸入額は1兆4,123億円(前年比34.4%減)と、3年連続で減少。2015年以降、資源相場下落を受けて輸入単価が下落したことに加え、2016年は輸入数量も減少したため、鉱物性燃料の輸入額が大幅に前年を下回り、結果、貿易収支の黒字拡大につながった。

### 原油相場における原油価格の推移



### 九州における鉱物性燃料輸入額と貿易収支の推移



←九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移